

地域の経済動向(令和5年4~6月期) 《十勝地域》

1 経済動向に係る企業等の声(4~6月期)

【建設業】

- ・ 様々な業種で人手不足が生じていることや若者の早期離職率の高まりなどから、特に、大手企業ではこれまで以上に若者の採用を増やしているため、地元の工業高校卒業生は、ほとんどが管外に流出し、地元中小企業への就職に結びついていない。(総合工事業)
- ・ 技術者の不足などから、公共事業の受注にも影響が出ている。(総合工事業)
- ・ 従業員の高齢化に伴いダンプカーの運転手や重機オペレーターの人材を出しても、申込みが来ない。資格保持者の採用が出来たとしても、定着せず、数ヶ月すると好条件の職場に移ってしまう。就業促進、人材定着のため職場環境や仕事の見直しが必要なのは理解しているが、難しいのが現状。(砂利採取業)

【製造業】

- ・ エネルギー価格や原材料価格の高騰の影響は大きく、冷蔵・冷凍に係る電気代は、前年同月と比べ、1割程度高くなっている。商品や店舗の温度管理として一番、電気を使用する7月ピーク時の使用量を抑えるのが今の課題。そのため、電気使用量を管理する監視装置を設置し、一日のどの時間帯に多く電気を使用しているか確認し、7月のピーク時に向け、作業時間帯や作業工程の見直しを実施している。(食料品製造業)
- ・ 材料及びプラスチック容器類については、総じて値上がりしている(ひと材料15~20%ほど値上がり)ため、各商品について、売れ行きや材料から個別に値段の見直しをしている。(食料品製造業)
- ・ 電気料金値上げへの対応として、契約の見直しや節電、LED照明への切り替えなど各事業者の出来る範囲で対応している状況。工場など製造設備を持つ企業については、補助金により省エネ設備へ更新したと聞いている。(商工会)
- ・ 求人は、無料掲載できるハローワークや地元紙で募集予定だが、パート時給950円以上で求人を出しても、応募が来ないことが多い。時給1,000円を超えないと、応募が来ない。(製造業)
- ・ 毎年最低賃金が上がるため、その時期にパートや社員全体の給与を見直し、ベースアップを実施している。(食料品製造業)
- ・ 工場や製造ラインで、外国人労働者が戻りつつある印象。(ベトナムなど東南アジアが多い印象)(商工会)
- ・ 人員確保が難しいため、採用活動支援や採用イベントの情報などいただけるとありがたい。(食料品製造業)

【卸売・小売業】

- ・ 大手百貨店の閉店から2ヶ月が経ち、来街者の減少を実感している。買い物客が少ない。共通駐車券の利用も大きく減少している。(商店街)
- ・ ライフル銃・散弾銃の実包は99%が輸入で、昨今の原油高・運送料上昇・ウクライナ情勢などで価格が上昇しており、3年前と比較して実包の価格が約2.5倍になっている。このことは、害獣駆除に影響が出ており、鹿の駆除をする度にハンターの自己負担が生じており、自治体によっては、補助金を出して負担軽減をしているところもある。(小売業)
- ・ 花火の打ち上げについて、若い人(花火師)は、業務時間が夜間に至る仕事を敬遠するため、人手が足りない状況。(小売業)
- ・ LPガスの運送業界は人手不足が顕著で、免許制度上、18歳の新卒者がすぐに大型・中型免許を取得できず、即戦力としてすぐに教育することが難しい。また、普通自動車免許を取得してもAT限定が多いので、LPガスの運送業務に活用できない。(ガス業)
- ・ LPガス配送には、点検業務も付随するため、運転免許だけではなく高圧ガス保安法に係る資格も必要のため、業界内で人材の取り合いが起こっている。(ガス業)
- ・ 働き方改革について、例えば、ゴールデンウィークでもLPガスの供給を止めることができないため、配送事業自体を休むことはできない。人材が多くいれば、ローテーションで休むなどの対応が出来るが、人材が不足しているため、十分に休むことができないのが現状。(ガス業)

【運輸業】

- ・ 昨年と比べると営業収入はやや持ち直しつつある。（道路貨物運送業）
- ・ 車体整備業界として、先進安全自動車が増えていく中、複雑高度化していく整備に対応出来る設備や資格者の確保、人材育成が急務の課題であるが、求人を出しても人が集まらず、採用してもなかなか定着に繋がらない状況。（自動車整備業）

【サービス業】

- ・ 全国旅行支援による旅行喚起、インバウンドの回復もみられ、前年同月比較では大きく増加している。ただ、回復傾向ではあるもののコロナ前の水準には及ばない状況。（宿泊業）
- ・ 現状、売上げは問題ないが、電気代などのコスト上昇がネックで、純利益が減少している。（サービス業）
- ・ 牛などを解体する大きな施設を有しており、解体や加工施設は電気をかなり消費するため、昨今の電気代高騰の影響は大きい。（サービス業）
- ・ 現在、人員は足りている。サービス業で土日関係なく働ける人員が望ましいため、コロナ禍に入り、ホテルから転職で正社員を確保できたのは大きい。育休に入っていた正社員も退職せずに復帰し働いている。退職予定者がいるが、次の人員を確保出来るか心配。（製造業）
- ・ 燃料の高騰や物価高騰、危機対応融資の返済開始、慢性的な人手不足が深刻な中での待遇改善と経営を持続させる努力ばかりが続いている。（サービス業）
- ・ 国が外国人介護人材の拡大を進めているが、コロナの影響のほかコミュニケーションの問題などもあり、なかなか定着には結びついていない状況。（人材派遣業者）
- ・ 介護職は特に不人気で人が集まらず、同業間で人材を奪い合っている状況で、廃業も出ている。（人材派遣業）





【関係機関・団体】









- ・ 電気料金の値上げは、どの事業者も苦しく、特に個人事業主が多い小売業や飲食業、建設業においては、コロナによる売上げ減少から持ち直していない中での追い打ちとなっている印象。また、原材料価格の高騰についても同様で、特に飲食店は、価格転嫁が難しいのが現状。（商工会）
- ・ 電気料金高騰・省エネ対策として、個人事業主や小規模事業者向けの LED 照明に更新できる補助金や支援金は需要があると思う。（商工会）
- ・ インボイス制度について、ある程度規模のある企業は問題なく対応しているが、個人事業主の中にはインボイスに対応が難しいため（事業主が高齢で制度を理解できない等、小売業者や建設業者に多い）店じまいを考えている事業者も多い。（商工会）
- ・ ゼロゼロ融資の返済については、まだ本格的に始まっていないが、借り換え保証制度を利用したいという相談はある。（商工会）
- ・ 町内の全業種に言えるが、ハローワークに求人を出しても募集がないのが現状。特に人手不足感が強いのは、工場の生産ライン従事者や自動車整備士で、正社員の求人を出しても集まらない。（商工会）

2 道内金融機関から見た地域景況感(4～6月期)

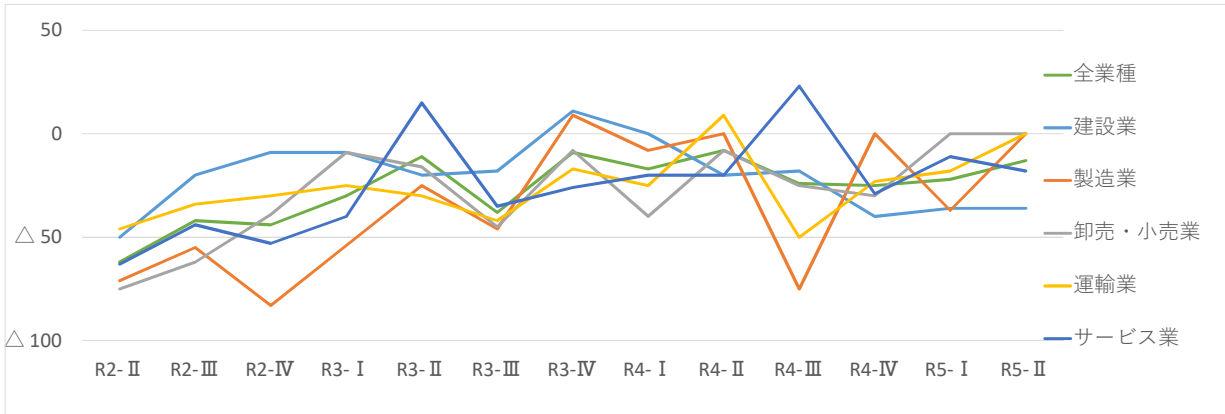
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
非常に好調	好調	やや好調	普通	やや低調	低調	非常に低調
						

【直近の景況感】

	現在の景況感				次期見通し	
	総合	生産 動向	消費 動向	判断理由	方向感	判断理由
帯広信用金庫				当金庫が実施した今期の地域企業景気動向調査では、地域企業の業況判断DIは△16と、前期実績△18と比べ、「悪い超」幅がやや縮小したものの、マイナス水準が続いたことから、「やや低調」と判断した。 生産動向については、製造業の業況判断DIが△12、消費動向については、小売業の業況判断DIが△24と、以前マイナス水準にあることから、「やや低調」と判断した。		次期の業況判断DIは△14と、今期に比べてやや改善し、4期連続で前期を上回る見通しにあることから、緩やかな上昇傾向にあると判断した。

	R3-Ⅲ	R3-Ⅳ	R4-Ⅰ	R4-Ⅱ	R4-Ⅲ	R4-Ⅳ	R5-Ⅰ	R5-Ⅱ
帯広信用金庫								

3 業種別の業況感BSI(企業経営者意識調査)



	R2-II	R2-III	R2-IV	R3-I	R3-II	R3-III	R3-IV	R4-I	R4-II	R4-III	R4-IV	R5-I	R5-II
全業種	△ 62	△ 42	△ 44	△ 30	△ 11	△ 38	△ 9	△ 17	△ 8	△ 24	△ 25	△ 22	△ 13
建設業	△ 50	△ 20	△ 9	△ 9	△ 20	△ 18	11	0	△ 20	△ 18	△ 40	△ 36	△ 36
製造業	△ 71	△ 55	△ 83	△ 54	△ 25	△ 46	9	△ 8	0	△ 75	0	△ 37	0
卸売・小売業	△ 75	△ 62	△ 39	△ 9	△ 16	△ 45	△ 8	△ 40	△ 8	△ 25	△ 30	0	0
運輸業	△ 46	△ 34	△ 30	△ 25	△ 30	△ 42	△ 17	△ 25	9	△ 50	△ 23	△ 18	0
サービス業	△ 63	△ 44	△ 53	△ 40	15	△ 35	△ 26	△ 20	△ 20	23	△ 29	△ 11	△ 18

4 各種経済指標

